

所報発刊にあたって

田川郡教育研究所 所長 長 野 修

依然として収束には至らない新型コロナウイルスに対して、ワクチン接種で少し明るい兆しが見えてきたかと思えます。しかし教育現場は対応に大変な努力を強いられていることにかわりはありません。このような時に教育のなすべき役割は何なのでしょう。一つはコロナ渦の中であるからこそ見えてくるものをさがすことではないかと考えます。コロナ渦で制限されたものとは「対面」であったり、「声（発声）」であったりすると思えます。このような制限の中だからこそできる実践がないでしょうか。

例えば、「今日から、この教室では定規は使ってはいけない」と定規を使わせないことによって子どもの発想が大きく膨らむという算数の授業をみたことがあります。実際にその授業では不十分な要素を補うため子どもたちの思考が活発になり、積極的な活動を誘発し「単位が必要」との考えにいたりしました。

このように制限があるからこそ生まれるものもあります。それが、ITを駆使した実践であったりリモートの発達であったり、企業で言えば「宅配サービス」であったりするのかも知れません。

教育現場はどうでしょうか。実際にITを使った実践やタブレットを使った実践等もあると思えます。また、そのようなものを使わなくとも、「対面」や「発声」を制限した実践なるものが生まれるかもしれないと期待しています。それが、田川郡から生まれてくるとこんな嬉しいことはありません。

また、コロナ渦での過ごし方を経験することで、他の人と繋がり、将来来たるべき危機に対応する力がついていることと思えます。しっかりと感染対策をして次なる時期に備えていただきたいと思うところです。田川郡の教師が智恵を結集させて新たな日常を作っていくように頑張りたいです。どうぞ今後とも研究所へのご支援・ご協力をお願いいたします。

就任の挨拶

田川郡教育研究所 副所長兼書記

添田町立中元寺小学校 校長 藤 田 昭 介

本年度も、昨年度に引き続き、副所長を拝命いたしました。

さて、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、各学校におかれましては様々な工夫をしながらの教育活動の実施となっていることと存じます。このような中、本研究所はこれまでの事業の見直し等を図り、田川郡の児童生徒の健全な育成及び教職員の育成に努めて参ります。本年度も本研究所へのご支援・ご協力をお願いします。

就任の挨拶

田川郡教育研究所 副所長兼幹事

福智町立方城中学校 校長 河 野 康 世

本年度、本研究所副所長を拝命いたしました方城中学校の河野です。どうぞよろしく願いいたします。コロナ禍において、一つ一つの活動の質を根底から問いたださざるを得ないのが現状です。予測不透明な状態がまだまだ続き、従前の研修ができない中、田川郡の教育研究所の果たすべき役割は、先生方の柔軟な発想を引き出し、繋いでいくようなことではないかと思っております。田川郡内の子ども達のために、ご協力をよろしく願いいたします。

令和2年度教育論文応募者・入選者紹介

ふくおか教育論文

川崎町立真崎小学校 教諭 熊野 大樹

佳作賞

『自ら考え表現し、考えを広げ深める子どもを育てる算数科学習指導』

川崎町立川崎中学校 主幹教諭 犬丸 成美

『A I に仕事を奪われない、勤労意欲を高めるキャリア教育「職業人に学ぶ」』

※表彰につきましては新型コロナウイルス感染対応のため次の通りになりました。

○令和2年度福岡県とびうめ教育表彰式（令和3年1月6日（火）県庁）にて代表者のみで開催されました。

○令和2年度筑豊教育事務所「ふくおか教育論文」表彰式・発表会（令和3年2月15日（月）筑豊教育事務所）は中止になりました。

田川郡教育研究所教育論文

川崎町立池尻小学校 教諭 上村 勇広

佳作賞

『 意欲的に表現する児童の育成 』

川崎町立川崎東小学校 教諭 田島 光

『 よりよい人間関係を育む特別活動の研究 』

添田町立添田小学校 教諭 中村 旨保

『「わかる」「できる」という喜びを感じ自分の考えを高めていく子どもの育成』

添田町立添田小学校 教諭 祖母仁田 湧

『 児童の「菌」に対する認知を高める総合的な学習の時間の実践 』

添田町立中元寺小学校 教諭 水谷 智也子

『 基礎・基本の力を育てる学習指導のあり方 』

※表彰につきましては、新型コロナウイルス感染対応のため各学校にて行っていただきました。

教育実践研究に関する研修会参加者

筑豊地区教育研究所等連絡協議会主催

岡本 敬吾 （糸田小） 「体育」

上村 勇広 （池尻小） 「国語」

江藤 望 （赤 小） 「国語」



指導技術講座参加者

筑豊地区教育研究所等連絡協議会後援

東 亜樹 （添田小）

田村 晶 （中元寺小）

平井 武道 （市場小）

藤島 政輝 （市場小）

井本 慎太郎 （弁城小）

野村 純平 （赤池中）

学力向上実践校の紹介【小学校】

学力向上を図るための取組

福智町立伊方小学校

1 学校教育目標

「子どもたちに夢を持たせ、その夢を実現する力を育む」
～キビキビ ハキハキ カッコよく～

2 経営目標（短期目標）

○「学び合い、助け合い、高め合う」教育活動を通して、一人ひとりが大切にされる教育を推進する。

3 取り組みの概要

（1）主題研修の充実

- 研究主題を「考えることを楽しみ、生き生きと表現する力を育てる学習指導の研究」とし、「学びの共同体」理論を軸とした授業改革を積極的に行い、確かな学力の育成を図る。
- 「対話・交流による学習集団づくり」を進める中で、子どもの言語認識力を高め、教師の授業力を向上させるための研修の充実を図る。

（2）自分の考えを表現できる児童の育成

- 自分の考えを書き、それを伝える能力向上のため、表現活動を意識した言語活動を取り入れる。
- 日々の授業において、「めあて」と「まとめ」に整合性がある構造的な板書を心がける。
- 「表現活動」「書く活動」を高める手立てとして、外部講師を招聘しての職員研修を実施し、「書く活動 Point9」の活用を図る。
- 週計画案への「書く活動」の位置づけを明記させ、管理職の教室訪問に活用する。

（3）習熟度別補充学習の実施

- 算数科において、単元終了時の習熟を図る学習には、補助体制を仕組み、複数体制で学習を進められる取り組みを実施している。
- 4年生以上の算数科において、習熟度別学習を実施したり、クラス毎に昼休みや放課後等を使ったりした補充を実施している。
- 低学年では、放課後に「がんばりっ子教室」を実施し、補充学習ができる時間を確保している。

（4）評価活動の徹底

- 漢字前倒し学習を行うとともに、週1回金曜日に漢字ユニットテストを行い、習得率80%以上をめざしている。金曜日のテスト終了後、翌月曜日に漢字習得率を割り出し、各学級に戻すとともに、各々で評価できる体制を整えている。また、年に2回、漢字コンクールと計算コンクールを実施することで、子どもの意欲も高めている。
- 「鍛ほめプロジェクト」の「がんばりカード」を有効活用し、全校統一して各クラスに掲示し、毎学期・学年末の評価活動を徹底している。

（5）その他

- 体育・スポーツ活動を充実させ、体力向上を図るとともに、基礎学力の基盤向上につなげる。
- 読書活動の充実により、言語力の育成とともに基礎・基本の学力の定着を図る。

4 家庭・地域との連携

- 学校運営協議会（方城中と合同）を充実させていくことで、学校・地域・家庭が一体となって、教育活動を推進することで、子どもたちの豊かな学びを確保できている。
- 低学年の「がんばりっ子教室」に、地域の方々のたくさんの支援をいただいている。

学力向上実践校の紹介【中学校】

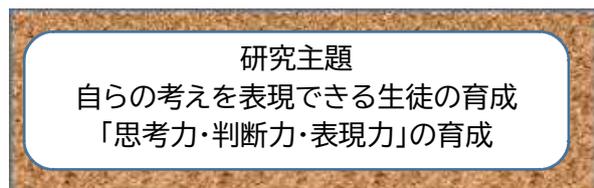
学力向上を図るための取組

福智町立方城中学校

学校の教育目標 『 環境変化に対応し、未来を切り拓く生徒の育成 』

教育課程 経営の重点：「新学習指導要領完全実施に伴う客観性・信頼性のある学習評価」

1 研究主題に基づく思考力・判断力・表現力の育成



思考力・判断力・表現力の育成に向け、

「思考力・判断力・表現力を問う問題」の出題と

それに基づく授業改善をすすめている。

問題作成

「思考力・判断力・表現力を問う問題」の作成

☆ 出題のねらいを明らかにし、期待する正答を作成する。知識・技能の内容、思考・判断・表現の方法を明らかにする。知識・技能を活用して、思考・判断・表現する場面や問い方を設定する。

授業実践

「思考力・判断力・表現力を問う問題」に解答する力を育成するための授業実践

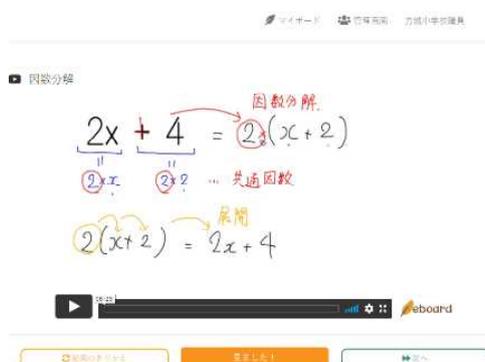
定期考査

定期考査に、「思考力・判断力・表現力を問う問題」を出題し、解答状況を考察

授業改善

解答状況を分析し、授業改善を実施

2 ICT教材を活用した基礎学力の定着



ICT教材（e-board）を導入し、授業だけでなく、補充学習や家庭学習、自習等で活用している。授業でわからなかったことを、いつでもどこでも何度でも復習することができ、欠席したときや長期休業中でも家庭で学習することができる。

生徒の学習状況は、教師側の管理画面で確認することができる。学習の進捗状況や確認テストの結果をリアルタイムで把握できるので、授業での復習や家庭学習の課題に生かすことができる。

☆ e-boardとは？

「映像授業＋デジタル問題集」の組み合わせで、「理解＋定着」を実現するICT教材



長期研修を終えて

添田町立真木小学校 主幹教諭 宮村 歩

昨年度、福岡教育大学教職大学院「学校運営リーダーコース」において、長期派遣研修員として一年間研修させていただきました。授業や実習を通して、「学校経営」や「組織マネジメント」、「人材育成」などについて多くのことを学び、経験することができました。特に、課題演習では、学力向上評価システムを構築・機能化することによって、「共有化」と「協働化」の往還が連続・発展し、チームの自主・自律につながることを究明することができました。このような研修の機会を与えてくださった皆様に深く感謝申し上げます。大学院で学んだことを、少しでも多く学校現場や地域に還元していけるよう、これからも努力してまいります。



赤村立赤小学校 指導教諭 小浦 美砂枝

福岡県教育センターの教育相談班において、一年間研修させていただきました。主題研修では、よりよい人間関係を自ら築こうとする児童を育てるために、学級活動(2)と道徳科を関連させた活動構成を仕組み、その中で児童が自らの課題に向き合い目標を設定し実践を積み重ねていく取組を行いました。研究を通して、児童の実態を多面的・多角的に把握し、教育活動の中で意図的・計画的に積極的生徒指導を行うことの重要性を学ぶことができました。今後は、これまでの研修を生かして自己研鑽に励み、この学びを学校や地域に還元していきたいと思っております。実りある研修となるよう関わり支えてくださった皆様に感謝しています。ありがとうございました。



川崎町立川崎東小学校 教諭 柳井 文陽

一昨年度、昨年度の2年間、福岡教育大学教職大学院において長期派遣研修員として研修をさせていただきました。私の研究は、特別活動を中心に学級経営を充実させることによって荒れた学校を立て直す研究です。本研究に全職員で取り組んだ結果、在籍校の課題解決に大きく役立ち、学校全体が大変落ち着きました。現在は、再び荒れた学校にしないための組織体制やシステムづくりを進めています。今後も学び続ける姿勢を忘れず、この研修で学ばせて頂いたことを在籍校や地域に還元していきたいと考えています。この2年間の大変貴重な研修の場を与えてくださいました全ての皆様に心より深く感謝申し上げます。有難うございました。



令和3年度 教育実践発表会等についてのお知らせ

◆筑豊地区教育研究所連絡協議会教育実践発表会

○日時 令和3年8月4日(水) 13:00~16:30

○場所 飯塚コスモスコモン(中ホール)・飯塚コミュニティセンター

○実践発表者 上村 勇広 (川崎町立池尻小学校)

主題『意欲的に表現する児童の育成』～作文における確かな問いに支えられた内容づくりを通して～



※各校から2名の参加をお願いします。

◆福岡県教育研究所連盟研究発表協議会

○実践報告者 福田 和憲 (福智町立方城中学校)

主題『思考力・判断力・表現力を育成するための指導と評価の一体化の推進』

～定期考査と関連づけた授業づくりを通して～

※例年11月に行われているこの研究発表協議会は新型コロナウイルス感染者防止の観点から紙上報告となりました。

食育だより

糸田町立糸田小学校 栄養教諭 松下 美里

田川郡学校給食会では、努力目標を「給食の円滑な運営と内容向上及び食育の推進を図るため、食に関する指導や研究研修の充実に努め、衛生管理に配慮しみんなに喜ばれる給食を目指すとともに、心身の健康の増進に努める。」として取り組んでまいります。

今年度、来年度の2年間は、赤村立赤中学校が田川郡学校給食会研究指定の委嘱校として取り組みを進めます。また、調理員を対象とした衛生管理研修会や調理技術講習会は、各施設で実施する計画としています。それぞれの施設で課題を解決していくことで衛生管理のさらなる徹底や、調理技術の向上を目指していきたいと思っています。児童生徒にとって給食の時間が安心して食事ができる時間となるように、引き続き基本的な感染予防対策の徹底にご協力下さい。



養護だより

福智町立弁城小学校 養護教諭 牛島 稚菜

田川郡学校保健会養護部会は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めながら、活動を進めていく予定です。

それに伴い、研修会や視察の延期、または中止を検討しています。全体で集まる研修の場は少なくなることが予想されますが、学校間の取組の交流や各部毎の定期的な研修を行い、養護教諭の資質の向上に努めていきたいと考えています。

さらに、感染症対策に加え、新しい生活様式に伴う心身への影響を鑑み、メンタルヘルスの問題や熱中症への対応なども求められています。今ある現代的な健康問題とともに、田川郡の子どもたちの健康課題を見据えながら、学校保健活動の活性化に向けて励んでいきたいと思えます。



田川郡教育研究所

[所在地] 〒 825-0002
田川市伊田松原通り 3292-2 田川総合庁舎 筑豊教育事務所田川駐在内
[TEL・FAX] 0947-47-1081
[E-mail] tagawa-lab@fukuoka.email.ne.jp
[URL] http://tagawa-lab.sakura.ne.jp/

所長	長野 修	副所長	河野 康世 (方城中学校 校長)
副所長	藤田 昭介 (中元寺小学校 校長)	幹事	〃
書記	〃	主任指導員	平田 隆司 (赤中学校 教頭)
主任指導員	中山 博紀 (添田小学校 教頭)	指導員	奥 拓也 (川崎東小学校 主幹教諭)
指導員	山口由一郎 (今任小学校 主幹教諭)		
指導員	中西 由恵 (大任中学校 主幹教諭)		